

Greeting from KEIO

部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 岸田和明



今年もまた大雨や台風による被害が多発しています。災害に遭われた方々へ心よりのお見舞いを申し上げます。そのような状況の中で、再び、早稲田大学と慶應義塾大学によるバドミントン定期戦を迎えることができました。開催に尽力された関係者の方々に御礼申し上げるとともに、これまで定期戦の歴史を積み重ねられた皆様に、深く敬意を表します。

言うまでもなく、各種競技における「早慶戦」は、早稲田大学・慶應義塾大学両校にとって他の公式試合とはまた違った意味をもつ、たとえ実力差があったとしても、負けることのできない重要な一戦です。1枚も2枚も格上の早稲田に対して、慶應は意地を見せなければなりません。選手たちが早慶戦ならではの底力を出してくれることを大いに期待しています。

どのような結果になろうとも、「ノーサイド」(日本で現在ワールドカップを開催している他競技の用語ですみません)の後は、十分に親睦を深め合ってもらえればと思います。大学間の垣根を越えて交わることのできる機会はたいへん貴重であり、おそらく「早慶戦」だからこそ与えられるものです。精一杯戦い、語り合い、今日一日を楽しんでください。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 諏訪芳博



来年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。その出場権をかけた戦いが真っ盛りのバドミントン界は、お互いの選手が凌ぎを削って、世界の舞台で数々の素晴らしい戦績を残しています。

2019年春に新築予定の慶應の日吉記念館も来年は英国チームに開放することが決まっており、オリンピックを間近で見る機会もあり、ンドンとオリンピックの機運が盛り上がってくることでしょう。

さて、今年の早慶バドミントン定期戦も昨年同様、慶應が早稲田の胸を借りる試合となります。

しかしながら、男子5複10単、女子2複3単という総力戦では、いろいろなドラマがあると信じており、今年も観戦し応援している方々に感動を与える試合を期待しています。

そのためには、昨年も言いましたが

①最後まで自分を信じて、自分の力を出し切り、自分に納得のできる試合や応援をやり抜くこと

②「勝」ことに拘り、気持ちの上で相手に負けないこと

を大切にして試合に臨んでいただきたいと思います。

永きにわたる歴史と数々の思い出がいっぱい詰まった定期戦が、今年は新しい早稲田のアリーナで開催されます。

場所のご提供に関しまして、早稲田大学の関係者に心より感謝申し上げます。

また、早慶戦の開催にあたり準備等にご尽力いただいた皆さまに感謝し、第67回の早慶バドミントン定期戦に向けた挨拶とさせていただきます。

Greeting from WASEDA

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 鈴木克彦



第67回早慶バドミントン定期戦の開催、誠におめでとうございます。67回の歴史を築き上げてこられたのは、ひとえに早慶OB・OGの皆様の尽力によるものであり、学生諸君には、感謝の気持ちを忘れずに本定期戦に臨んでもらいたいと思います。

さて、この原稿を執筆した9月中旬頃には、大林拓真君が学生日本代表として今年度から創設されたアジア学生バドミントン選手権大会男子シングルスにて、見事に金メダルを獲得し、初代王者に輝きました。現役学生が国際大会で活躍することは、他部を含めても非常に名誉あることで、今後も学生スポーツ界の代表、日本代表として、本学学生アスリート

の模範となるような選手に成長してくれることを期待しております。

今年もあっという間に月日が経ち、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで1年を切りました。現時点で、本学OBで日本代表でもある嘉村健士君がオリンピック代表選出に非常に優位な世界ランキングに位置しています。ぜひ選出されることを願うとともに、本大会での「金メダル」獲得を目指してもらいたく、心から応援したいと存じます。学生諸君にとっては、オリンピック・パラリンピック競技大会は、「出場」したい大会でもあれば、「支援」したい大会でもあるかと思えます。学生時代に練習に励むだけでなく、競技大会あるいは、スポーツそのものとの関わり方についても考えながら日々を過ごしてもらいたいです。

最後になりましたが、両校の現役諸君ならびにOB・OGの皆様が本大会を通じてより一層交流が深まることを祈念致します。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 登坂 洋



第67回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。

この早慶戦は、大学のバドミントン定期戦としては、日本で最も古いもので、記念会堂の建て直しの間、早稲田大学が当番校の時も、慶應大学のご助力で、日吉記念館を使用させていただき滞りなく開催されてきました。本年令和元年に慶應大学を迎えて、完成になりました早稲田アリーナのラバーコート4面を含めた会場で、試合が出来ることを大変嬉しく思っております。今年の両校の夏期合宿は、慶應大学が福岡で、早大卒の蘭君が部長を務める日本経済大学と合同合宿を行い、早稲田大学は早大卒の木内君が国体の強化本部長を務める茨城県の石岡で、互いに厳しい練習を積んでまいりました。

札幌での東日本選手権、秋季リーグ戦、インカレは、2複3単で戦ってきましたが、4年生にとって最後の団体戦である早慶戦は、男子の5複10単の総力戦であり勝敗は予断を許しません。どうか全力でプレーし、思い出の大会としてください。

私共OBも、小田原でのインカレ応援ツアーで慶應大学OBの徳用さんの熱海旅館法悦に泊まり、結束を固めてまいりました。本日の早慶定期戦で、卒業後も長く続く両校の絆が一段と深まるよう願っております。

ラグビーワールドカップ2019でのジョセフJAPANの史上初の決勝トーナメント進出!そして、バレーボールワールドカップ日本男子28年ぶりの4位・史上初の8勝と、今秋もスポーツが皆を熱くしてくれている。元々劣勢と言われたこの2チームに共通することが、捲土重来を期し強化していく過程で、「多様性」「科学的アプローチ」「ONE TEAM」というキーワードを重視してきたように思われる。コーチ、メンバーの出身・出路も非常に多様だ。特にバレーボール男子の復活は元フランス代表のフィリップ・ブラン無くしては語れないだろう。中垣内祐一監督は「戦術・練習内容・試合指示はすべて彼に任せている」と公言。ブランの日々のサーブやレセプションの練習メニューは一見地味だが、科学的裏付けのある方法を徹底的に繰り返す。そして、その反復練習の状況を克明に記録・チェックしたスタッフが選手とガチンコでやりあう日々が当たり前となっている。役職・階層・ヒエラルキーは関係なく、多様で且つフラットで居ながら、個々が圧倒的にお互いにコミットしあう。まさに「ONE TEAM」だ。

この2チームの進化の過程には、我が慶應義塾体育会バドミントン部復活のヒントが数多く含まれているように思えてならない。「古豪復活」「文武両道」を掲げて皆で頑張るものの、日々の勉強・課題提出のハードさ(昭和のおおらかな授業・出席・試験の在り様と比べると今は大変厳しい時代だと、昭和60年代当時経済学部ゼミ無し学生だった私は思います)や、日吉記念館建替えによるジブシー生活の中で、移動時間とタフな練習をこなすことで精一杯だったり、練習のための練習に陥りそうになったりと、なかなか現実には厳しい。そこを打破する鍵が「多様性」としての外部の方々の助けであったり、実業団・競合大学との交流になる。ご存じのように法政大学・NTT東日本時代に日本一になられた竹鼻拓也ヘッドコーチ・矢野智恵美女子コーチから科学的メソッドや情熱を日々頂いたり、フランスから留学しているラファエル君から異文化・モノの見方の刺激を受けたり、また今夏は、早稲田大学OBの日本経済大学蘭和真総監督や福岡大学西本孝総監督のご協力で大変刺激ある福岡夏合宿を実施することができた。蘭教授(兼学科長)の研究室には、日本一になられて代表としてニューヨークでプレーされた際のお写真(義塾体育会S59小柳尚久先輩撮影)が飾られており、当時の早慶の熱き交流の薫陶を頂きました。

現役選手諸君、早慶両校の数多くの先輩方が営々と築き上げてこられたこの晴れ舞台で、思う存分日々の鍛錬・練習の成果を発揮してください。バドミントンという言葉を通じて、コートの上で、永遠のライバル早稲田大学の現役選手諸君と、一羽一羽、ワンラリーワンラリーを大切に、お互いの生きざまをぶつけ合ってください。きっとかけがえのない一生モノの体験となることでしょう。

最後になりましたが、早稲田大学の現役選手諸君、今年の早慶戦でも、是非、諸君の実力を余すことなく慶應に見せつけてください。慶應は本日の早慶戦で対戦した諸君との試合を糧にして、昨年よりも今年、今年よりも来年へと、着実に一步一步前進して行きます。

KEIO VS WASEDA

各種 生あん
煉あん
ねり

製菓材料の御用は
品質本位の当店へ!!



株式
会社

清水製あん所

本社・工場 横浜市南区中村町3丁目203番地の14 電話 横浜 (045) 261-1523番
ねりあん専門工場 横浜市泉区飯田町 1124 - 3 電話 横浜 (045) 802-1523番

今年の5月より「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代が幕開けした中、この伝統ある早慶バドミントン定期戦も遂に67回目を迎えることになりました。この挨拶文執筆の依頼を受けることで、今年も伝統の早慶戦の季節がやってきた事を強く実感し、現役さながらに大変気持ちが高揚しております。

さて、この早慶バドミントン定期戦は、昭和28年から一度も途切れることなく開催され、私の知る限りでは、大学バドミントン界において最も回数を重ねた定期戦であり、私が生まれるとうの昔から、諸先輩方が築き上げてきた伝統を噛みしめる事のできる一日であり、今年も開催する事ができたのも、ひとえに関係者の皆様方のご尽力によるものと認識しております。特にこの数年間は、本学の早稲田アリーナ(旧記念会堂)の建て替えの関係で慶應義塾大学を舞台として本定期戦を開催させて頂き、慶應義塾大学バドミントン部関係者の方々には感謝しても感謝しきれない気持ちで一杯です。昨年度は、本学の東伏見アリーナでの開催でしたが、今年度は満を持して、早稲田アリーナでの初定期戦開催ということで、例年以上に早慶学生諸君らの活躍及び熱戦に期待したいと思います。

さて、少し話は変わりますが、2019年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催前年度ということで、バドミントン界全体も非常に盛り上がりを見せています。オリンピックレースを眺めてみると、本学OBの嘉村健士氏(平成24年卒)が男子ダブルス種目で世界ランキング4位(8月末現在)でオリンピック出場が非常に期待できる位置にいます。2016年リオオリンピック以降の日々の鍛錬の積み重ねがこのランキングに如実に反映されており、嘉村氏には心から賛辞を送りつつ、来年、東京オリンピックの舞台での大活躍を期待したいと思います。現役部員には、嘉村氏のような世界トップレベルの選手が学生時代には本定期戦に出場していたことをぜひ意識して本定期戦に臨んでもらいたいと思います。

さて、今年度の本学の戦績はというと、現時点(9月はじめ)で男子は東日本学生選手権大会優勝、女子は関東春季リーグ戦優勝とそれぞれ好成績を残しておりますが、秋以降の大会においても、1年生から4年生まで全員が一致団結して、練習に創意工夫を凝らすことで、最高の結果を残してくれることを期待しています。

今年の早慶戦は、私自身が監督として参戦4年目となりますが、現役学生、特に自身が監督就任時に入学した4年生(渡辺、浅原、吉村、鈴木、田中、桃井、松本、中根、片桐)には、4年間の集大成として、各人が悔いのないよう全力を尽くして、慶應の選手らと名勝負を繰り広げてもらいたいと思っております。

また、1年生～3年生においても、独特な雰囲気を持つ本定期戦に対して物怖じせずに、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮する場として、ぜひ勝利を目指してもらいたいです。

最後になりましたが、今年も慶應の現役及びOB・OGの皆様方と本定期戦及びその後の懇親会を一つのきっかけとして両校の友好がさらに深まることを祈念致します。

WASEDA **VS** **KEIO**

500円でいろんな種類の
おいしいハンバーグ定食が
食べられる!!

ハンバーグの店「キッチンミキ」

東京都新宿区西早稲田一丁目20-10
TEL 03-3203-2262

慶應義塾大学 理工学部 平成24年卒

山口 哲夫

第67回慶早バドミントン定期戦の開催にあたり、心よりお慶び申し上げます。本定期戦の開催に向けてご尽力されてきた両校の皆様へ感謝申し上げます。

私が大学を卒業してから8年が経ちますが、当時と比べてバドミントンが世間一般的に急激に人気が出てきたと感じています。リオオリンピックでの金メダルに始まって、日本選手が世界大会で優勝することも珍しくなくなり、トップ選手のメディアへの露出も増え、競技人口も増え続けていると聞きます。当時は考えられないことでした。世の中のバドミントン熱が上がっていることに喜びを覚えつつも、私自身は社会人になってからバドミントンから離れておりました。しかし、当時の早稲田主将であった嘉村君は、現在も日本代表として第一線でバドミントン界を引っ張っており、慶應同期の竹内君は起業をして愛知県にバドミントンアリーナを建設しようと日夜努力しているなど、バドミントンを生業としている人間が身近にいることを嬉しく感じます。早慶戦を戦った良き仲間、良き友人としてバドミントンの発展に尽力している彼らを応援しないわけにはいきません。

さて、話はそれましたが、本日は慶早戦です。4年生の集大成を見せるときです。君たちがやってきたことが実を結ぶことを期待しています。相手は全国トップレベルの早稲田ですが、この早慶戦という特殊な場においては、プレッシャーを感じないわけではないと思っています。後日談として聞いた話ですが、当時私と主将戦を戦った嘉村君でさえ、早慶戦に対しては相当なプレッシャーを感じていたということです。(結局私が大差で負けましたが…。)自分たちがやってきたことを信じて、堂々と相手に向かう姿を見せてください。

3年生以下は、4年生の最後の勇姿をぜひ目に焼き付けてください。先日の秋季リーグ戦で男子は4部降格という結果となり、皆失意にかられていましたが、4部いようが3部にいようが、誰でも等しく強くなる時間があります。大切なのは、現状を見誤らないこと、目標を見失わないことだと思います。苦しい期間に入るかもしれませんが、その苦しさだけ濃密な時間を過ごせます。その思うようにいかない苦しささえ楽しんで、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

最後に、両校の益々の発展をお祈り致します。がんばれ早稲田!!めっちゃがんばれ慶應!!

KEIO

慶早戦
に
寄せて

WASEDA

慶應義塾大学 法学部政治学科 昭和59年卒

馬場 良浩

慶早戦に寄せて、現役諸君へ!

早稲田の現役諸君、35年前に卒業したロートル、馬場と申します。最終学年の年は、早稲田と慶應が共に一部リーグで優勝争いを、と言いたいところですが、5位と6位で切磋琢磨した年でした。

自慢がひとつ、あります。俺は主将でしたが、同期の主将は木内君でした。そう、つい先日終了した茨城国体の茨城県バドミントン強化部長の大役を果たした、あの木内君です。

嬉しいメールが試合終了後に送られてきたのです。木内君が誇らしげに3位の表彰状を掲げている写真が!

早稲田の現役諸君、35年経っても慶應義塾の同期と、生涯切磋琢磨できる関係でいてくださいね!

それにしても力の差があり過ぎて、ごめん!!

慶應義塾の現役諸君、皆さん方に何も協力できずに申し訳ない!それでも35年経っても現役諸君の悪戦苦闘ぶりを聞くと、勝ち負けに関わらずうれしくなります。

ひとことだけ伝えたい!

「力及ばずして倒れることを辞さないが、力尽くさずして挫けることを拒否する!」

人間が成長するときは、100%のプレーをした時じゃない。120%のプレーをした時、初めて皆さん方は、成長できる。

慶早戦を通して大きく成長してほしい。

最後に。早稲田と慶應の現役生へ。就職活動で面接の練習をする必要がある、企業で人事部長をしている俺が相手します。それくらいしか皆さん方にしてやれないが、内定、とれるぞ!

早稲田大学 教育学部 昭和62年卒

小関 信一

第67回早慶バドミントン定期戦開催、誠にありがとうございます。卒業後32年の時が流れましたが、当時の緊張感が未だに蘇ってまいります。私の現役時代、早稲田は関東大学リーグでは1部でしたが順位は5位か6位、慶応も1部2部を行ったり来たりで、実力伯仲でした。一年生の時第31回の印象は強烈です。早稲田は木内さんが主将、慶応は馬場さんが主将。春の1部のリーグ戦では早稲田が接戦で勝っていましたが、早慶戦は総力戦です。どうなるか分かりません。その中で一年生の私はトップシングルの仰せつかりました。相手は一学年上の永井さん。緊張しました。必死でスマッシュを打ったのを覚えています。会場は日吉記念館。ステージの前のコートで試合をしたのですが、この時は応援団が開会式の後も残っていてくれて、ステージ上すぐ目の前、試合の途中途中で「打て打て小関!!」と太鼓を叩いてエールを送ってくれました。私のバドミントン人生こんなことは一回きり、さすが早慶戦です(笑)。

終盤の4年生木内さん、岸さん対馬場さん、永井さんの試合は見応えがありました。接戦でした早稲田岸さん、慶応永井さんは私の高校(山形東)の先輩でもありましたので、応援にも熱が入ったのを覚えています。全体の成績は10-5で早稲田勝利でしたが内容はほんとうに接戦でした。私は早稲田に入学する前、中央大学でバドミントン部に一年間在籍しておりました。ですから、早慶定期戦の魅力をおささを感じていると思います。春秋のリーグ戦、関東学生、東日本、そしてインカレなど他の大会では味わえない、早稲田、慶応の学生以外には味わうことのできない、大学間の垣根を超えて交わることのできる貴重な機会です。他の大学では経験することが出来ません。とても幸せな時間だと思います。今年は新しい早稲田アリーナでの試合です。日吉記念館も新しくなります。素晴らしい会場で両校現役の皆さん、力を出し切り競い合って新しい早慶戦の時代を作ってください。試合の後は思いっきり懇親を深めてください。OBの皆さんは怪我ないようにほどほどに頑張ってください(笑)。

健闘をお祈りします。

WASEDA

早慶戦
に
寄せて

KEIO

早稲田大学 文化構想学部 平成29年卒

松岡 徹

この度は、第67回早慶バドミントン定期戦が開催されることを心よりお祝い申し上げます。また、この定期戦が2018年12月に完成した早稲田アリーナ(旧記念会堂)にて開催されることにつき、環境が変化しても伝統が継承されていくことを、OBとして誇りに感じます。

私にとって早慶戦は、多くの苦労や悔しさがありながら、達成感や楽しさも感じる事ができた、かけがえのない経験です。1年次から4年次まで、大会準備、進行、試合、懇親会と仕事が多く、億劫に感じつつも試行錯誤し頑張っていたことを今でも昨日のように思い出します。4年次は主務として大会企画・運営を行う傍ら大将戦に出場する機会をいただき、自分が大会の主役であるような気持ちで臨みました。しかし結果として、準備段階では同期の村山、高野に多大なる迷惑をかけ、大会当日の挨拶では嘸んでしまい、大将戦では同期の松井に大敗を喫しました。しかし、当時感じた大会準備段階での緊張感や試合後の虚無感など、他では味わうことができない貴重な経験をさせていただいたと思います。

上記の経験を通して私が強く感じることは、早慶戦は両校の学生が貴重な関係を築くことのできる場である、ということです。早慶の間には敵でありながら戦友、同志のような関係を感じます。そして、先輩方が早慶関係なく親しげに会話されている姿を見るにつき、その関係は年齢に関係なく築かれ、より強くなるもののように感じます。この素晴らしい関係を築き、育むことができることこそ、早慶戦の醍醐味だと感じております。

両校の選手の方々につきましては、日々の練習の成果をいかんなく発揮し、悔いのないよう全力で戦っていただきたく思います。熱い試合が繰り返されることを楽しみにしております。そして試合の後はぜひ、早慶関係なく肩を組み、大いに語り合ってみてください。

未筆ながら、慶応、早稲田両校の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

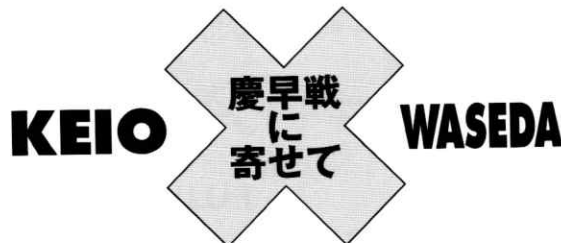
高嶋 道

第67回慶早バドミントン定期戦の開催、誠におめでとうございます。

昨年、慶應義塾体育会バドミントン部主将としてコートに立ち、皆様の前で学生最後の試合をさせていただいた日のことが昨日のことに思い出されます。主将同士の対戦ではなかったものの、歴代の主将が鎬を削ったあの舞台上で接戦の末に勝利をつかむことができたこと。そして、大応援の中、全力で強敵早稲田大学に挑んだという経験は、私の中に深く刻まれており、今後の人生においてもかけがえのないものになると確信しております。

私は今年で67回目の開催となるこの定期戦を「不変な関係の象徴」と考えます。先輩方が連続と紡がれてきた慶早両部の歴史を背負い、1年間の練習の成果を存分に発揮して試合に臨む。そして、結果がどちらに転ぼうとも、試合が終わった後にはお互いを尊敬し讃え合うという、67年間変わらない関係を表していると考えます。現役の皆さんにはぜひ、この伝統ある定期戦においてコートに立つことができる感謝と誇りを胸に、実力の全てを出し切り、これまで以上に熱く激しい戦いをすることで慶早定期戦に新たな歴史を刻んでいただきたいと思います。

最後になりますが、今回の慶早バドミントン定期戦が素晴らしい戦いになること、また今後の両校の更なる活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



祝 早慶バドミントン定期戦

いつもご利用ありがとうございます。

OB・OGの皆様にも同窓会・クラス会・各種パーティーのご予約承っております。

慶應義塾日吉ファカルティラウンジ

営業時間 AM 11:00～PM 8:00

定休日 日・祝日 (パーティー予約については応相談)

電話番号 045 - 562 - 7882

早稲田大学 スポーツ科学部 平成31年卒 (前年度主将)

古賀穂

第67回早慶バドミントン定期戦が今年新しく建てられました早稲田アリーナにおいて開催されますこと、誠におめでとうございます。伝統ある今大会にかかわることが出来ることをお慶び申し上げます。

近年、日本バドミントン界の国際競技力は向上しており、世界において牽引する立場となっています。地上波テレビにもバドミントンが放映されるなど国内において過去に類をみない盛り上がりを見せております。早稲田大学バドミントン部からも現日本代表選手の嘉村健士(2012年卒)をはじめ多くのOB・OGが国内外で活躍しています。活躍する多くのOB・OGもまた早慶バドミントン定期戦を経て強くなってまいりました。早慶戦の経験が現在の活躍の要因だと考えると、単なる定期戦ではなく、大変意義のある、重要な大会であると言えます。

激闘を終えた後は今大会ならではの懇親会があり、それもこれまで大会開催するにあたり運営に尽力して下さった方々、また常に早慶両校の発展を願い支え続けてくださるOB・OGの皆様のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。両校の熱い戦いを期待するとともに、さらなる発展振興を祈念いたしまして前主将挨拶とさせていただきます。

今後も永きに渡り早慶両校の発展を祈念して前主将挨拶とさせていただきます。



横浜家系ら～めん

武道家

営業時間：11時～25時
ライス終日無料

新宿区馬場下町62白馬ビル1F
☎03-3205-3245

初めに、今大会を迎えるにあたりご尽力いただきました関係者の皆様、また歴史ある大会を今日まで紡いできてくださった両校OB・OGの皆様に厚く御礼申し上げます。

本年で67回を数える早慶バドミントン定期戦という伝統の一戦をこの早稲田アリーナで開催できますこと、そしてこの伝統の舞台に主将として臨むことができますことを、大変誇らしく、名誉に感じております。

私はこの大会を主将として臨むことができるとは夢にも思っていませんでした。ここまでバドミントンに全力を注ぐことも想像していませんでした。バドミントンを始めて10年、特に慶應義塾体育会での4年間があったからこそ人間としても成長することができたと感じています。チームが1つになれたのも、私1人の力だけでなく、同期や下級生の助けがあったからこそだと考えています。チームのみんなにはとても感謝しています。

そして、その大学4年間の最後の大会であるこの早慶戦は、私にとって最も思い出に残る大会になることは間違いありません。これまで歩んで来たバドミントン人生の集大成を発揮し、最高のパフォーマンスを発揮することをここに宣言致します。

ここまでチームが戦い抜くことができたのは、ひとえに監督やコーチをはじめ、OB・OGの皆様、保護者の方々など、いかなる時であっても私たちが気にかけて、ご支援、ご声援をいただいたすべての方々のおかげです。

今日、最後の慶早戦という舞台で躍動することを誓い、主将挨拶とさせていただきます。

KEIO VS WASEDA

「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! その他のパーティーに!

山 食

慶應義塾三田キャンパス内
TEL 03(3453)5971

今年で67回目となる伝統ある早慶バドミントン定期戦を今年の4月に完成したばかりの早稲田アリーナで開催できますこと、心から嬉しく思います。

早稲田大学バドミントン部の歴史は早慶戦とともにあると言っても過言ではありません。なぜならば、本学バドミントン部は今から67年前の1952年に創部されたからです。この歴史と伝統のある素晴らしい舞台に主将として臨むことができ、大変誇らしく感じている次第です。

古賀前主将をはじめとする10名の部員が引退した後、私は主将としてチームの最大の目標である「インカレ団体戦アベック優勝」と部員一人一人が「人として成長」するために、組織マネジメントをしてきました。その第一歩として部員と向き合い、意見や考え方を知ることから始めました。組織をつくっていく上で、正解のない問いの連続に、試行錯誤の日々が続きました。そのような時も、同期や後輩、OBの方々のヒントやアドバイスもあり、最善の道を進むことができました。

そして今日、伝統ある早稲田大学バドミントン部で学んだ4年間の集大成として、最高のパフォーマンスを発揮するよう、チーム全員で戦います。

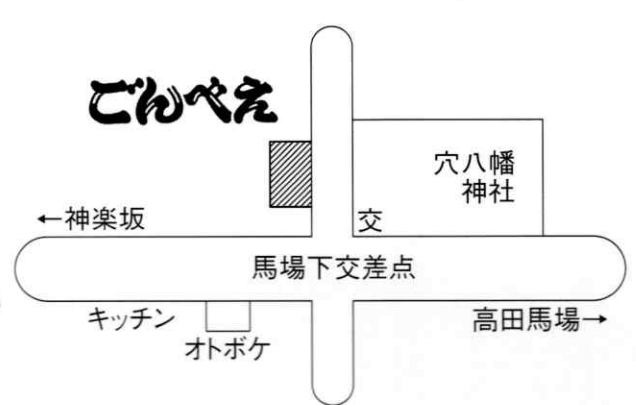
最後になりましたが早慶戦の開催にあたり、ご協力いただいたOB・OGの方々をはじめ、監督、コーチ、トレーナーすべての方々に感謝申し上げます。

WASEDA KEIO

手打うどん

ごんやえ

ごんやえ



← 神楽坂

馬場下交差点

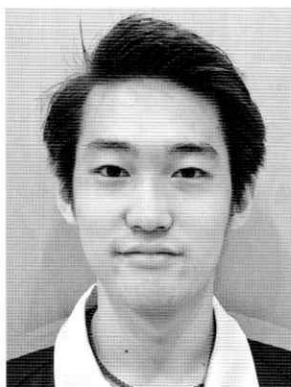
キッチン

オトボケ

高田馬場 →

新宿区馬場下町18番地 ☎3202-3550

KEIO



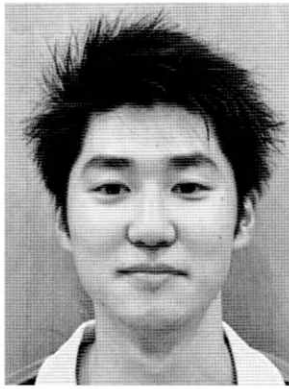
主将
清水 遼郁
経3
慶應義塾 (神奈川)

我らが慶應の主将ずーしみ。気前の良さも部内トップで、いつも後輩達に美味しいご飯を奢っている。そんな彼から放たれるスマッシュはあまりに強烈でバックラインも超えてしまうほどだ。今年も早稲田はレシーブすら出来ないだろう。



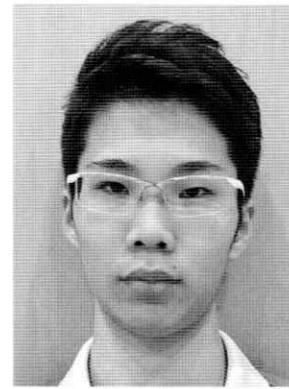
主務
金子 凱
法政4
公文国際 (神奈川)

慶應バド部のナイスガイ！誰よりも大きな声で応援し、盛り上げる応援団長。その一方、主務として部を切り盛りする縁の下の力持ち！鬼のランニングで鍛えたその体力はまさに圧巻。さすがナイスガイ！



福島 徹平
商4
芝(東京)

1年の時を経て慶應バド部に帰還した我らがテツ。短距離のスタートダッシュでの初速はシャトルの初速をも上回る。今回の早慶戦でもその弾丸スマッシュをぶち抜いてくれるはず!



岡部 庄之介
理工4
新潟(新潟)

一見運動ができなさそうに見えるがバリバリの体育会系。左利きの彼から繰り出されるスマッシュ(クロスファイア)は強烈。早稲田から一勝をもぎ取ってくれるだろう。



佃 啓介
法法3
広島なぎさ(広島)

綺麗なフォームと、ド派手なメガネが特徴のつくD。真面目で熱心な性格だが、空回りすることもしばしば。早慶戦でも大胆なプレーや行動で、早稲田、はたまた慶應のペースを崩すことになるのか。



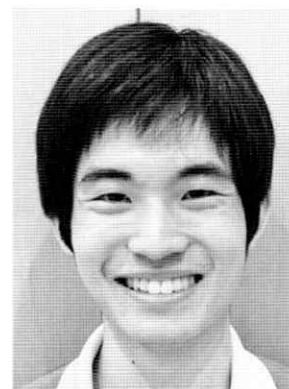
副務
渡辺 圭
法法3
慶應義塾志木(埼玉)

世界のKeilは、この慶早戦後カナダへと飛び立つ。数少ない部の常識人枠が減る痛手は大きい、夢の実現を応援します☆ 将来bigになってそうなので、今のうちから仲良くしておこう。



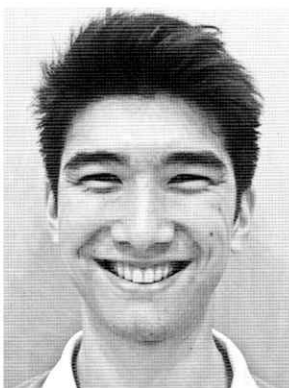
三木 隆太
商3
慶應義塾湘南藤沢(神奈川)

コミュカおぼけ。キャンパスを歩けば知人にあたる。部内でもその人柄から皆に慕われる人気者だ。でも、怒ると怖い。バドミントンを始めて3年目になり、メキメキと上達する三木さんのプレーをとくとご覧あれ!



引地 亮太
理工3
川越(埼玉)

高校初めとは思えない上手さ。彼の運動神経の良さがそれを実現させている。そしてなによりトリッキーなプレイが持ち味。最近では脱鉄人となっているが、鉄人の意地を早慶戦で見せて欲しい。



Plaquet Raphaël
プラケ ラファエル
大学院前期博士課程(修士)
経済学研究科2

HEC Paris(フランス・パリ)ボンジュール。慶應に再び降り立ったイケメンパリジャン。その深い彫りの甘いマスクと優雅なプレー、達人な日本語で落とした女の子は星の数。めっちゃセブーン。トレビアーン。シルブプレ。



女子主将
和田 穂代
総合3
聖ウルスラ学院英智(宮城)

怪我からの驚異の回復力を見せた慶應のエース。タビオカをこよなく愛し、メイクの腕を上げるなど、私生活も上々。そんな誰からも愛されるまりよは、持ち前の粘り強さで今年も早稲田から一勝をもぎ取るに違いない。

ガイ!
援し、
その
切り
持ち!
たそ
さす



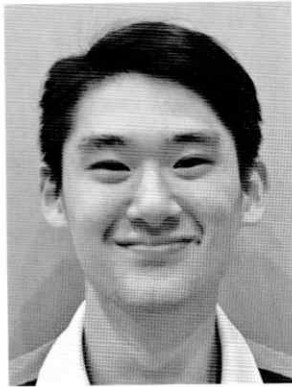
女子主務
中元 悠花子
総合3
立命館慶祥(北海道)

みんなのマドンナゆかさん。本物の女子力を持つ彼女は、主務の仕事もバッチリこなしてみんなから慕われている。大好きなキャラクター、ソーナンスのように、控えめだが粘り強くプレーする。



白石 会美
法政3
湘南白百合学園(神奈川)

今急激に力を伸ばしている注目選手。特に走力の伸びは目を見張るものがあり、部員を驚かせた。初の早慶戦では、日頃の練習の成果をいかに発揮し、粘り強いプレーで早稲田を圧倒するだろう。



稲原 溪
経2
日比谷(東京)

我が部が誇るインテリヤンキー、稲原。はちゃめちゃなフォームからは想像がつかない優秀なシングルスプレーヤー。色んな意味で試合で暴れまわる彼だが、早慶戦ではいい意味で暴れまわってほしいものだ。



結城 拓也
商2
浦和(埼玉)

幼い顔立ちとは裏腹に、天性の勝負師である。その精神はコート内で遺憾無く発揮されるが、練習後も口が開けば「男気やろうぜ!!」そんな彼は勝つべくして勝ち、週末に得たバイト代を溶かす日々だ。



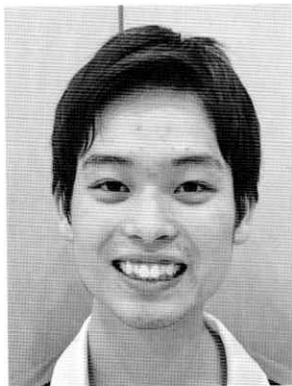
塩谷 拓人
医学2
慶應義塾(神奈川)

医学部から突如舞い降りてきたオシオ。筋骨隆隆、電光石火、文武両道のオシオ。そんな彼のラケットさばきはメスを扱うかのような繊細さで他を魅了する。「僕、失敗しないので。」



高科 幸平
理工2
サレジオ学院(神奈川)

フォームのきれいさは部の中でもピカイチ。彼の持ち味のスマッシュも部の中でピカイチ。一年の頃からレギュラーである彼のプレーも磨きがきつているため、ぜひ注目したい。



竹本 功貴
理工2
高岡(富山)

富山からやってきたヘビー級プレイヤー、タケ。高身長から繰り出されるスマッシュのスピードは、見る者をあっと驚かせる。今日も得意の隠語で早稲田を翻弄してくれるはず。



田村 侑己
環境2
八王子東(東京)

慶應のイケメン担当兼ムードメーカー、タム。彼の早慶戦に対する思いは強く、今年は気合を入れて坊主での参戦だ。彼はダブルスを得意とし、後衛の角度のあるスマッシュはネットを破いてインになる。今年も吠えろ!タム!



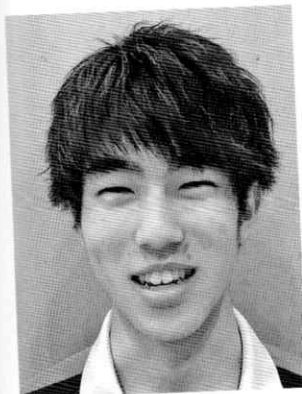
小沼 みなみ
文2
西武台千葉 (千葉)

バドミントン部公認の晴れ女。祈ってもないのに快晴をもたらす彼女は、某話題作のヒロインをも凌ぐ摩訶不思議な能力を持っている。靴下に穴が空いている。プレーに穴はない！その精密かつ強力なショットは見る者を魅了し、慶應に勝利をもたらすだろう。



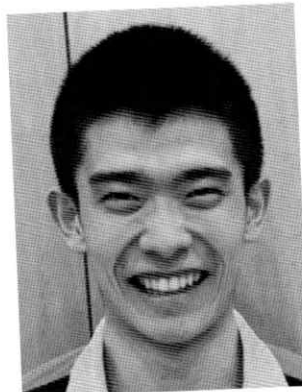
女子副務
福田 瑠奈
文2
大宮 (埼玉)

大食いチャンピオン福田瑠奈。男子もだれも敵いません。好きな食べ物はタピオカ、パンケーキ、シュークリーム。早慶戦勝利のご褒美は、パンケーキ1年分だ。



八木橋 優希
法法1
日比谷 (東京)

日比谷からやってきた、驚異のネットスト。日常的にネットスラングを使用するデジタル世代の申し子の存在。見ている人が大草原不可避なトリッキーなプレイで早稲田を翻弄するンゴ。



迎 俊輔
法政1
本郷 (東京)

慶應の坊主。少し抜けているのがたまにキズ。でも、常に全力なので、憎めない奴。謝る時は大きな声で「ん あ あ〜すみません!」。以前は何故か試合中にも謝っていた…。しかし、バドミントンを始めてまだ半年とは思えない上達ぶりを見せる、将来有望な期待の新人だ。



三島 亜里紗
商1
熊本第一 (熊本)

みんなのアイドルありさ。とんでもないマヌケ発言がみんなの心を惹きつける。三島の性格を象徴するあっと驚くとんでもないスーパーショットに注目だ。



監督
岩田 好造
 Kozo Iwata
 昭和63年経済学部卒
 長崎東(長崎)出身
 リクルート

部員それぞれとのコミュニケーションを大事にする。バドミントンだけでなく様々な話を自ら語るが、その話は部員の今後の人生の糧になる話ばかりだ。



ヘッドコーチ
竹鼻 拓也
 Takuya Takehana
 法政大学卒
 金沢二水(石川)出身
 NTTドコモ

現役を引退してなお、一流の技術、運動能力を持ち、常に高いレベルを追い求める。一球一球への粘り、試合の勝利への執着心は部員の手本である。



コーチ
村山 卓
 Suguru Murayama
 平成29年商学部卒
 東海高校(愛知)出身
 三井住友海上あいおい生命

一見怖いけど、とても後輩思い。平日にもかかわらず、練習にいらっしゃって部員一人一人に声をかけてくれる。そして後輩たちの成長を温かく見守っている。



コーチ
上村 聡
 Satoshi Kamimura
 平成30年文学部卒
 西武台(千葉)出身
 キリン

現役そしてOBとなった今でも圧倒的な存在感。時には厳しい言葉を部員に投げかけるが、それも後輩を思っていること。爆発的なスマッシュは今なお健在だ。

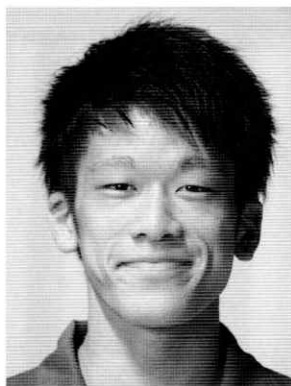


コーチ
川原 優
 Yu Kawahara
 平成30年総合政策学部卒
 九州国際大学付属(福岡)出身
 リクルートキャリア

みんなのお姉さんとして優しく厳しく愛情たっぷりの優さん。女子力、コミュニケーション能力共に早慶だれもかなわないほどの高レベルを極めている。今回の早慶戦でも、それらを駆使してみんなを魅了するだろう。

(※)各コーチの紹介欄に掲載されたコメントは、各コーチの人柄や生き様に対して抱いている印象を基に4年福島が書き綴ったもので、コーチ本人の言葉ではないことをおことわりしておきます。

WASEDA



主将
渡辺 俊和
スポ科4
埼玉栄(埼玉)

「お前の物は俺の物」を信条とする我らがキャプテン。その強欲さはとどまることを知らず、差し入れの弁当からユニフォームまで、躊躇なく後輩たちから奪い去る。それでも部員からの信頼が厚いのは、たまに車でコストコに連れて行ってくれるからだろう。コストコは偉大。



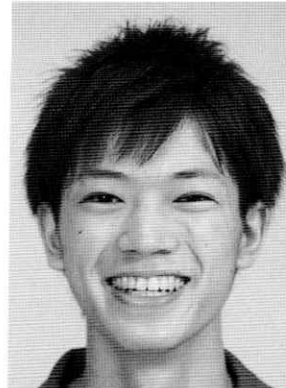
副将
浅原 大輔
スポ科4
聖ウルスラ英智(宮城)

自称イケメン。最近の悩みは自分のかっこよさに目が眩んでシャトルがよく見えないこと。無限にお金が出てくる魔法の財布を所有しており、日々豪遊している。後輩たちが受ける恩恵も大きい。副キャプテン、いつもご馳走様です。



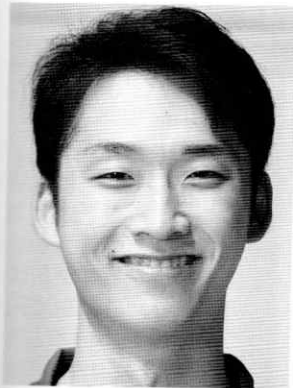
吉村 徳仁
スポ科4
高岡第一(富山)

どんなに厳しい練習でも誰よりもガッツキ、大きな声を出して周りを鼓舞する、早稲田の松岡修造。全く暑苦しくはない。早慶戦もアゲアゲ ホイッホイッなバドミントンで大いに盛り上げて欲しい。



鈴木 朋弥
商4
聖ウルスラ英智(宮城)

22歳なのに心はまだ15歳。率先していたずらを考える。東日本では治療用ローションと称してキャプテンに水飴を塗ろうと画策した。しょうもない嘘もたくさんつくので、会話をするときはずっと疑う心を持つことが大切。



田中 敬一郎
社学4
早稲田渋谷シンガポール(東京)

部のピンチの時にだけ現れる必殺仕事人。仕事が早すぎて周りが置いていかれることが多い。熱々のトングを後輩の顔に押し付けるなど狂った一面もあるので、食事を共にする際は一定の距離を保ちたい。



桃井 伶実
スポ科4
金沢向陽(石川)

いつも騒がしい浅原・吉村を「うるさい」の一言で黙らせる早稲田の裏ボス。渡辺キャプテンも影で操られている。おまけに大酒飲みで早稲田男子が束になっても勝てない。もう逆らいたしません、桃井さん...



松本 茜
社学4
九州国際大付属(福岡)

最近人肌が恋しいらしい。そのせいか周りの男性へのスキンシップが激しく、多くの勘違いを呼んでいる。その性格を表すような粘り強いプレーと弓道を彷彿とさせる独特のフォームには一見の価値がある。



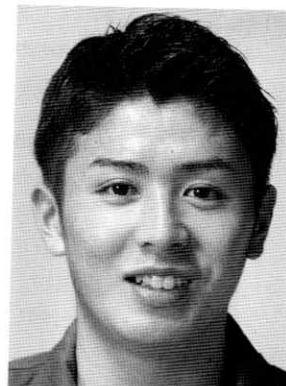
中根 智華
教育4
関東第一(東京)

将来は海外移住志望で常に連れて行ってくれそうな優秀なパートナーを探している。非常に敏感な男センサーを備えている。タイプはサッカーをしているイケメン。なんならサッカーはいい。



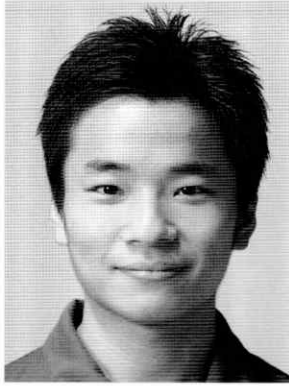
片桐 悠夏
人科4
西武台(千葉)

バカンスを経て戻ってきた35歳の大学生。米倉涼子もびっくりの演技力で実年齢をばらすことなく大学生活をやり過ごしてきた。現在婚活中で狙うはSexyZoneの佐藤勝利くん。愛よ届け。



小野寺 雅之
スポ科3
埼玉栄(埼玉)

早稲田名物バドミントン日本代表。海外遠征に明け暮れており、年の半分は海外にいる。ポケモントレーナーとしても最強を目指しており、今日もせっせとポケモンを捕まえている。ギラティナ欲しいね。



川本 寛樹
文構3
早大本庄(埼玉)

バドミントン以外にも音ゲー、筋トレと多くの趣味を持つ。堂々の顔でランキング1位。顔がでかいといじられる毎日にも慣れてしまい、逆にそこに快感を見出すようになってしまった。美人になら踏まれたらいい...



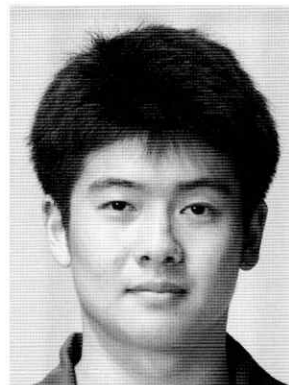
吾妻 咲弥
スポ科3
富岡(福島)

女子っぽい女子。オフの日はカフェ巡りがルーティーン。欠かすと死ぬ。バドミントンの成績もさることながら学業の成績も優秀で模範的な先輩。たまに般若のような顔をしますが、見なかったことにしておく。



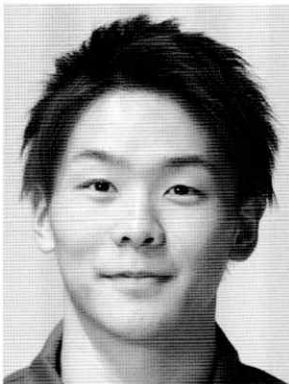
大林 拓真
スポ科2
埼玉栄(埼玉)

こちらも早稲田要のバードジャパン。強靱な肉体を有しており地球人よりサイヤ人寄り。繰り出すスマッシュの音を聞く度、打たれるシャトルが可哀想になる。私服がおしゃれ。



友金 利玖斗
スポ科2
神戸村野工業(兵庫)

我が道を行く兵庫人。体育館に響く歌声は大体彼のもの。舌が肥えており、食べ物へのこだわりが強い。しかしマクドは好物で一度に1500円使うのはざら。マックじゃなくてマクドだから。



牧野 倫太郎
スポ科2
豊橋東(愛知)

未来のバードジャパン。その実力は来年覚醒予定で、東日本優勝、インカレ優勝、全日本総合優勝を経て、一年でA代表入りするところまで見据えている。ライバルは桃田賢斗選手。



平野 沙妃
スポ科2
九州国際大付属(福岡)

休みの日はとにかくお出かけしたい人間。行きたい場所をリストアップしており、その数は30を超えている。意外にも料理ができるので、何か食べたくなったら注文しよう。出前サービス承ってます。



鈴木 ゆうき
社学2
聖ウルスラ英智(宮城)

練習中にいきなり奇声をあげるから怖い。朝からテンションが高いから怖い。スマッシュボディに当ててくるから怖い。年中彼女がいるから怖い。笑顔が怖い。怖い...



緑川 大輝
スポ科1
埼玉栄(埼玉)

インハイ三冠という最強の称号を持って早稲田に入学した3人目のバードジャパン。華麗なラケットさばきで相手を置き去りにする。身長をカバーするジャンプ力でコート中を飛び回る彼の試合は見応えがある。



吉田 瑠実
スポ科1
埼玉栄(埼玉)

インハイを制した確かな
実力者。ただコートから一
歩でも出ると天然ボケし
てしまう。あざとさも兼ね
備えており、皆が嫌がる一
発芸ですらうまく利用して
きた。かわいいーかわいい
ー (棒)



佐原 穂果
人科1
近畿大学付属和歌山高等学校

脊索動物哺乳綱霊長目ヒト
科ヒト属に分類される生
物。直立二足歩行をし、手
で道具を使うらしいがその
生態はいまだほとんど明
かされていない。今後新た
な発見があればすぐにニュ
ースになるだろう。いつも
お仕事ありがとうございます。